

会 議 録

会議名	辰野町文化財保護審議会（第1回）
開催日時	平成28年6月2日（木） 午前9時00分～午前12時00分
場所	町民会館 104号学習室
出席者	13名中 12名（審議委員9名、事務局4名）
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 委員任命書交付 3. 会長あいさつ 4. 教育長あいさつ 5. 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 文化財保護事業経過報告事業計画について (2) 文化財保護事業計画について (3) 小野宿の町並み保存について (4) 『辰野町資料』の刊行計画について <ul style="list-style-type: none"> ・第114号の編集責任者について ・第115号の編集について (5) 文化財パトロールについて 矢島先生に依頼 (6) その他 6. その他 7. 閉会 ※ 現地視察
会議結果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 委員任命書交付 3. 会長あいさつ 4. 教育長あいさつ 5. 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 文化財保護事業経過報告事業計画について <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度3月以降の事業経過 古城のケヤキの枝打ち結果 審議会で思い切った伐採でも構わないとの答申を頂いたが、業者と理事者を交えて協議を行った結果、業者の示した枝打ち作業の範囲内で留めることになった。 小野のシダレグリ自生地保存管理計画途中経過 平成27年度はシダレグリの分布図を作成した。ただし、各個体の状況を記録するまでにはいたらなかった。 直径10cm以上の木を図面上に落とし込んだが、約1,000本を数えた。 矢彦神社修繕事業について 平成27年度は設計のほか、廻廊の傾きの修正（土台の据え直し）および拝殿の下地まで工事を行った。 ・平成28年度の事業経過 十一面観音・薬王寺薬師如来座像の拝観が4月に集中した。 5月3～4日に小川村の諏訪神社に平出の騎馬行列の奉納が行われた。 (2) 文化財保護事業計画について <ul style="list-style-type: none"> ・小野のシダレグリ保存管理計画策定 ・矢彦神社改修 平成28年度は、分布図上のクリの木の毎木調査を実施し、その成果を基に委員会を行う予定。 ・小野家文書掲額修理 「明辨篤行」の額の修繕を行う。 ・石造物調査報告書の刊行 年度末に報告書を刊行できる見込みになった。今までの発行と異なり関係者に配布した残部を書店に並べて販売してもらうことを考えている。 ・矢彦神社拝殿修繕工事 今年度は拝殿の銅板吹き替えのみを行う。6月中に完了予定。 ・埋蔵文化財試掘調査 県道拡幅に伴う御茶屋敷遺跡の試掘調査 春日街道延長に伴う山田遺跡の試掘調査 急傾斜地崩落対策事業に伴う竜ヶ崎城址遺跡の試掘調査

(3) 小野宿の町並み保存について

年度末に「さわや」さんが規制がなければ建物を取り壊すとの連絡が入った。それまでも柏屋などで取り壊したいとの話があったが、少し時間がほしいとお願いしていたが、「さわや」はもう7月には取り壊すことにしたとの話になった。

将来的に町並み保存するという事になれば、小野地区は歴史的な資源が多く存在するので、東は初期中山道に関する小野峠、小野のシダレグリ自生地、初期中山道と一里塚、西は伝承の残る牛首峠や明倫館、北は唐沢川、小野図書館なども含めて、広域的にとらえて広範囲で選定に向けて検討してはどうかと考えている。

このような構想をもって地元の皆さんと話し合いをしていけたらと考えている。

町並み保存を考えた場合、建物すべてを残すのは難しいのではないかと思いますので、外観だけでも残せるように考えたらどうかと思う。

教育員会の考えは分かったが、地元はどのような雰囲気なのか。

地元の考え方はこれから探っていきたい。(事務局)

地元はあまり町並み保存に関する動きはないように感じるので、教育委員会でイニシアチブをとって、説明をしていけば、地元も動きやすいのではないかと。大きな構想を提起していくことも大切ではないかと思う。

油屋さんもそうだが、景観という点からは古いものでも、新しくなったとしても、景観を保つてくという考え方が必要ではないか。

街並み保存はあくまでも地元の人がそれなりの覚悟が必要であって、教育委員会の熱意だけでは難しい。

今、文化庁は文化的景観の選定を考え始めている。小野はその方向がいいのではないかと。建物1軒ごとではなく、地域全体を保存するという考え方があっているのではないかと。

町並みといっても、時間が流れているので、そっくり江戸時代に戻せばいいという話ではない。現に建物が建て替えられている地域がある。

国道のバイパスも考えているが、バイパスが出来れば、道路改修もできるので、そのうえで町並み保存もできるので、そういうことも踏まえて町づくりという大きな視点で考えていかなくてはいけないと思う。

下町の古い建物はほとんど空き家となっている。空き家で残った建物をどうするかという問題がある。

最後は地元の意識が大切だと考えている。そういう体制になれば、教育委員会も様々な方向と一緒に活動できると考えている。(事務局)

下町の古い建物はほとんど空き家となっている。空き家で残った建物をどうするかという問題がある。

国は、文化的景観に主眼をおきつつある、少々建物が新しくても、水の取り入れを残したりとって緩やかな規制で選定をしている。北小野を巻き込んで選定を目指していけばいい。

小野は歴史をもったコンパクトな地区なので、萩のような地域になりうる。

町並みだけだと、空き家をどうするとか、古い家には住みたくないという話題になって、とん挫する可能性があるが、地域構想のなかで江戸時代の景観を残すという提案なら、残しやすいかもしれない。

町並み保存には企業などのスポンサーも必要になってくると思う。

(4) 『辰野町資料』の刊行計画について
・第114号の編集責任者について

現在編集中。

・第115号の編集について

(5) 文化財パトロールについて

(6) その他

6. その他

7. 閉会

※ 現地視察

小野宿